

10月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	1 三條南RC 会場三条ロイヤルホテル 「ライラ報告会」	2 三條北RC 「職業奉仕月間」卓話 (株)マルソー会長 渡辺喜彦様	3 三條RC 会場ハミングプラザ ビップ 卓話 樺山仁会員	4 三條東RC 「米山月間」 燕RC 通常例会 加茂RC 「米山月間」	5 吉田RC 通常例会	6 赤い羽根 街頭募金 ジャスコ 三条店
7	8 体育の日	9 三條北RC 卓話「食育」 三条市食育推進室長 田村 直様	10 三條RC 会場三条ロイヤルホテル 卓話 陶芸家 石田一平様	11 三條東RC 卓話国定市長 燕RC クラブ・フォーラム 加茂RC 外部卓話	12 吉田RC 通常例会	13
14	15 三條南RC 会場三条ロイヤルホテル 卓話 田中久作会員	16 三條北RC 「米山月間」 奨学生ロン・チャンターさん	17 三條RC 一泊移動例会 (親睦旅行)	18 三條東RC 会員卓話 燕RC 外部卓話 加茂RC 職場例会	19 吉田RC 夜例会	20
21	22 三條南RC 「職場例会」	23 三條北RC 夜例会 「お月見会」	24 三條RC 会場ハミングプラザ ビップ 卓話 土田友江様	25 三條東RC 移動例会 燕RC 外部卓話 加茂RC 夜例会	26 吉田RC 通常例会	27 社会奉仕 事業 「サッカー観戦」招待
28 CLPセミナー	29 三條南RC 会場三条ロイヤルホテル 「米山月間」	30 三條北RC 卓話 堀田正弘会員	31 三條RC 会場ハミングプラザ ビップ 「職業奉仕月間」			

★上記以外RC 火曜日 田上あじさい・分水 水曜日 巻 木曜日 見附
 記帳受付
 17日(水) 三條RC (三條信用金庫本店)
 18日(木) 加茂RC (加茂市産業センター)
 19日(金) 吉田RC (山岸会計事務所)
 22日(月) 三條南RC (三條信用金庫本店)
 25日(木) 三條東RC (三條ロイヤルホテル)
 25日(木) 加茂RC (加茂市産業センター)
 30日(火) 田上あじさいCF (田上町商工会館)
 30日(火) 分水RC (新潟大栄信用組合本店)

三條RC・三條南RCは例会場が変更になります。
 メークアップされる場合は事務局までご連絡下さい。

11月17・18日地区大会(朱鷺メッセ)
 2008.3.22 会長エレクト研修
 2008.3.22 (土) 社会奉仕事業「食育」講演会
 2008.5.17 地区協議会
 2008.6.14 三條南RC40周年記念式典

お知らせ

三條北ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長
 ウィルフリッド J.ウィルキンソン
 地区ガバナー
 渡辺 敏彦
 北クラブ会長
 山中 正
 幹事
 小林 繁男
 SAA
 安田 貞夫



例会日2007. 10. 16 累計 No.1010 当年No.15

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場:三條ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
 事務局:三條市本町 3-5-25 三條ロイヤルホテル内
 TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
 ホームページ:http://www.sanjo-nrc.org
 メールアドレス:north@sanjo-nrc.org

本日の出席:
 68名中36名
 先々週の出席率:
 68名中49名72. 05%
 (前年同80. 33%)

9月の出席状況:
 会員数68名例会数4回
 平均出席率73. 53%
 (前年同月82. 38%)

先週のメークアップ:(敬称略)
 10月10日三條RCへ
 星野義男
 11日三條東RCへ
 中條耕二、今井克義
 星野義男、笹原壯玄
 12日ガバナー連絡会
 中條耕二、斎藤 正

本日のゲスト:
 米山奨学生(長岡技術科学大学)
 ロン・チャンターさん
 (カンボジア)

本日のビジター:
 三條南RCより 荏澤喜一郎さん
 三條東RCより 本多昭一さん

本日の行事:
 「米山月間」スピーチ
 ロン・チャンターさん

「ロータリーの友」
 10月号紹介

*横組み 15頁
 「蚊取り線香に魅せられし50年」
 *横組み 16頁
 「まつりを奉仕する」
 *縦組み 7頁
 「くらぶ探訪」京都南RC

会長挨拶

山中会長



本日もメンバーの皆様にはお忙しい中を例会にご出席頂き誠に有難うございます。

本日の例会は米山月間にちなみまして米山奨学生でいらっしゃいますロン・チャンターさんをお招き致しましての例会行事となっております。

また、ロンさんのカウンセラーをされております三條東RCの本多さんにもご同行を頂いております。誠にありがとうございます。

私たちの地域には沢山のボランティア団体があります。また組織に属さないで地道にボランティア活動をされておられます方々も多くいらっしゃいます。青少年の為の健全育成をされている団体、身体に不自由のある方々為に活動している団体、色々な施設に訪問し活動している団体、豊かな街づくりの為に活動している団体、等それぞれの団体が大変素晴らしい活動をされております。そして、RCも地域から、これらボランティア団体と同じ認識と評価を頂いていると思います。

しかし、私がRCと他の地域ボランティア団体と大きく違う事は、RCは地域での様々な活動の他に国際貢献をしている(出来る)団体だということです。その国際貢献の中でも一番が『米山奨学金制度』ではないかと思います。日本で学ぶ外国人留学生に対してロータリアンから浄財を集めそれを財源として奨学金を支給します。そして奨学生には将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって頂く事を目的としており、民間最大の奨学財団です。今年四月までのまとめでは109ヶ国13,902人の留学生を支援してきたとの事です。私たちロータリアンのひとり一人の僅かな寄付行為が大きな力となっております。

渡辺ガバナーが「夜、一回お酒を呑みに行ったら財団に寄付して頂いたら、とても大きな力になる」とおっしゃっておられました。当クラブに於いては山本米山奨学委員長さんからご苦勞をして頂いて毎例会ごとに米山奨学のPRをして頂いております。誠にありがとうございます。

ボランティア活動に『偉い・偉くない・すごい・すごくない』など

はありません。それぞれの団体が独自の活動をして社会に貢献されております。しかし米山奨学制度で国際貢献をしているRCはもっと地域社会に認知されてもいいと思います。



幹事報告

小林繁男幹事

- ・渡辺GBより
2007-08年度インターアクトの集い開催について
中越沖地震により無期延期と致しておりましたが会員各位からのご支援のお陰で開催いたします
日時 平成19年12月16日(日)
会場 シーユース雷音(柏崎市)



コニコボックス：16日現在累計434,000円

山中 正君 ロンさん、東RCの本多さん、本日は大変ありがとうございます。
高橋 彰雄君 BOXに協力
横田加代子君 〃
阿部 勝子君 〃

米山奨学ボックス

本多 昭一君(三条東RC) 9/26三条東RCに美人のゴルファーに出席をお願いし盛り上げていただきありがとうございました。今日ロン・チャンターとおじゃましました。宜しく申し上げます。
笹原 壮玄君 当院18年の年度末が無事終了。
早川 瀧雄君 米山奨学生のロン・チャンターさんを歓迎します。
梨木 建夫君 ロン・チャンターさん、本多さん歓迎申し上げます。又山本委員長に敬意を表して！
山本 賢君 7月にロータリー米山記念奨学会は財団設立40周年を迎えました。また、米山記念奨学会の理事長が、6年間務められた島津久厚氏(都城RC)から板橋敏雄氏(足利東RC)に代わりました。
今月は米山月間ですので本日は長岡技術大学で勉学に励んでいる三条東RCの米山奨学生 ロン・チャンターさんのご講話を拝聴したいと思います。
チャンターさんはようやく情勢の混乱が収まりつつある東南アジアのカンボ

唯我独論(病院の医師不足解消に提言する)

糸魚川市の医療生協姫川病院が、多額の負債を抱え、医師確保の目処がたらず倒産とのニュースは、私達県民の耳目に新しい。然し病院の医師不足は地方に留まらず大都の近郊の病院に迄及んでいる。大阪のベッタタウン人口40万余の牧方市の基幹病院であるベッタ数604床の星ヶ丘厚生年金病院が常勤内科医10名が大学の医局の都合で引き上げてしまい内科は休止状態と日経メディカル9月号は報じている。我が国の医師養成制度と病院の医師不足を述べてみる。昭和30年代の深刻な医師不足解消を目指し、人口10万対医師数150人を目標に昭和45年1県1医大構想が発表され、秋田大に医学部が新設されたのを皮切りに昭和56年を以て無医大県は解消するのである。然し乍ら対人口比医師数の多い府県程、1人当たり医療費が高額との厚生省の調査結果を踏まえ、増え続ける総国民医療費抑制の為、近い将来、医師過剰時代が到来するとの予測と、日本医師会による医師増加反対の圧力等により、早くも昭和60年には国立大医学部定員削減へと舵を切るのである。医療の進歩、複雑化は従来以上に多数の医師を必要とするなど、霞ヶ関の我が身保身に汲汲とする官僚や、国会議員の能力！！では今日の病院の医師不足の現状など予測できなかったのである。厚労省は国立大医学部の定員を10人程度増やし解決できている様だが、私はそんなに容易ではないと思う。

平成16年度より施行された新卒医師に対する新研修医制度は新卒医師にとり大学病院は敬遠され大都市の医療水準が高く研修医が集まらず、入局者の激減となり医局は人手不足に陥り、派遣先から医師を引き上げざるをえなくなったのである。私は敢えて提案する。大学病院の使命として掲げる、教育、医療、研究から研究を外し研修とするのである。基礎医学は別として、純粋臨床分野からは、独創的な世界レベルの論文など、殆ど皆無に近い状態である。外科の分野で脚光を浴びる移植外科や腹腔鏡手術は全て欧米生まれであり、内科の分野でも或る領域を除き殆どが欧米の後追いである。臨床研究を希求する研究者は、全国に3ないし4ヶ所に臨床研究拠点病院をつくり国公私立の差別なく厳正に公平中立の立場から選抜し、研究費も集中投与する事で、日本から全世界に向け、独創的、画期的な研究が発進できると思う。現在の大学病院は研修体勢が整う事で、新卒の医師は大学病院を喜んで研修の場を選ぶと思う。昔、何処かの大学であった研究費という名目の裏金を要求する事なく、地域の病院の必要度の優先順に、増えた入局者を派遣する事である。次は医師免許制の更新制を提案したい。医師国家試験に一度合格すれば、余程の事がない限り生涯医師の資格が保証されるという事は、国民の生命を担う職種の重大性を考えると、卒後一定期間を経過した時点で、国の責任の下、講習などという姑息な方法ではなく、その時代に医師として相応しい知識を有するか再度試験すべきと考える。そうする事で開業医や診療所の医師に対する国民の信頼は高まり、患者さんの病院志向も緩和し病院は過度の繁忙から解放され、病院本来の機能を発揮できると確信する。そうする事で病院の医師不足も解消すると考える。

小島 茂男